

A-1 保育内容

A-1-（1）全体的な計画の作成

A-1-（1）－①	a	1	・全体的な計画の作成に職員の関りが無い。全体で見直しをして次の課題を見つける作業もできていない。全体で話しあう機会があるとよい。 ・地域の実態にに応じるとい部分もできていない。 ・園児管理で年間指導計画や月案を作成している。ファンファンもルクミーにて、年間指導計画、月案を作成している。
	b	4	
	c		
A-1-（2）－①	a	4	・室内の温度、湿度、換気には十分に気をつけている。チェック表を各部屋ごとに置いてある。 ・園舎が狭いので、子どもが本当にくつろいでいるか不安になる。 ・食事、遊び、睡眠の空間は同じであるが、時間ごとに心地よい様に工夫して過ごせるようにしている。 ・毎月、保育室や園庭の家具や遊具に異常がないか安全チェックをしている。不備があった場合は、すぐに業者に連絡している。また、職員会議で情報を共有している。 ・遊具は3か月ごとに見直しをして、入れ替えをしている。
	b	1	
	c		
A-1-（2）－②	a	5	・小規模保育施設なので、子どもの人数も少なく、1人ひとりの子どもをしっかりと観ることができている。職員同士で子どもの姿を共有できている。 ・狭いため、危険予防の為行動を制止する言葉を使うことが多々あるのは反省点である。 ・子どもたちの気持ちを受け止め、寄り添うようにしている。まだ、言葉がうまくでない0, 1歳児は表情やしぐさで気持ちをくみ取り、正しい言葉遣いで話すように心がけている。また、子どもの目線になって話をするようにしている。
	b		
	c		
A-1-（2）－③	a	5	・入所時、家庭での生活を詳しく聞き取りをし、連携を図りながら基本的な生活習慣を身につけられる様にしている。 ・食事、睡眠、トイレトレーニングなど一人一人の発達段階を踏まえ、子ども達の自分でしようとする気持ちを引き出せるような声掛けをしている。 ・子ども一人一人の健康状態や家での生活リズムを把握し、園でも心地よく過ごせるように活動と給食のバランスがとれるように配慮している。
	b		
	c		
A-1-（2）－④	a	3	・絵本棚、玩具の棚に自分たちで選んで遊べるような環境を設置している。 ・玩具の見直し、絵本の季節を考えての交換もしている。 ・遊びの中で「ありがとう」や「ごめんなさい」「貸して」などの言葉を知らせ、社会的ルールや態度が身に付けられるようにしている。 ・子どもたちが「してみたい」の気持ちを尊重して、活動を変更することがある。また、子どもたちが主体的になるようになるべく見守るようにしている。 ・戸外あそびや園外保育は計画しているが、なかなか園外へでる機会が確保できず、経験が不足していると感じる。散歩に行ったときは、季節の花や虫を見つけてみんなで観察している。
	b	2	
	c		

A-1- (2) -⑤	a	4	・一人一人の子どものその日の姿に合わせ、午前寝だったり授乳の時間など配慮している。 ・子どもの表情に合わせた言葉かけをし愛着関係を育んでいる。 ・月齢に合わせた玩具の提供をし、身近な環境に興味を持てるようにしている。 ・家庭と連携して、子どもの生活リズムや食事、遊びに配慮している。特に遊びに関しては発達過程に応じて、保育を行っている。 ・部屋や玩具の消毒を行い、清潔に安全に過ごせるようにしている。
	b	1	
	c		
A-1- (2) -⑥	a	5	・0. 1. 2歳12名での生活なので、異年齢での関わりが多く、保育士が仲立ちをして安心して遊べるようにしている。 ・言葉の獲得から、言葉のやり取りの楽しさを知る年齢なので、適切な言葉を知らせるようにしている。 ・「自分でしたい」という気持ちを受け止め、そばで見守り、できない時は少しだけ手伝うようにしている。子どもが1人でできた時は大いに褒め、自信につながるようにしている。 ・保育環境が狭いため、探索活動が十分に行えるとはいえない。 ・玩具の入れ替えを行い、子どもたちが自由に玩具に触れて遊べるようにしている。
ファンファン非該当	b		
	c		
A-1- (2) -⑦	a		
	b		
	c		
A-1- (2) -⑧	a	1	・気になる子どもの保護者とは連携を細かくし、必要に応じて専門機関（しながくどうやつぐみなど）とつながりを持ち、相談や助言を受けている。話し合ったことは、記録をとり職員会議などで職員で共有している。 ・個別の指導計画も作成している。 ・気になる子どもとは1対1のかかわりも大切なので、他の保育者とも協力し、子どもの状況に応じた保育を行っている。 ・他の子どもの保護者への情報を伝える取り組みは不足している。
	b	3	
	c		
	非該当	1	
A-1- (2) -⑨	a	4	・それぞれの子どもの在園時間を考慮し、時間を区切りゆったりと過ごせるような遊びを提供している。 ・アプリで連絡帳、または個別連絡を上手に使い、子どもの状況を適切に伝えあうことができている。写真を送信したりして、様子を細かく伝えあうことができる。 ・子どもたちがゆったりと過ごせるように、食事をする場所、午睡をする場所、遊ぶ場所と分けて過ごしている。 ・年齢の異なる子どもたちと普段から楽しく関わりを持って過ごすことができている。
	b	1	
	c		
A-1- (2) -⑩	a		
ファンファン非該当	b		
	c		